



ばいりん

令和5年6月号

横浜市立梅林小学校

TEL 045-773-0341

FAX 045-772-4862



ありのままの自分を大切に

校長 芦垣 幸代

先日、人権教育の研修の機会があり、「自尊感情」について講師の話の話を聞きました。自尊感情とは自己尊重心であり、「ありのままの自分を、尊び、大切に思うこと」「いつどんな状態の自分も、かけがえのない唯一無二の『存在』の価値がある」という話でした。自己尊重の心の土台は、あるがままを受け入れる無条件の受容から育まれるもので、この土台がしっかりと大きいと、他者の評価によって変化する他律的な自尊心によりバランスを崩すことがなくブレない安定感、自信、自由があるという話もありました。自律的な自尊感情を育てるために、「比べない（今この私で、大丈夫、価値ある存在）」「責めない（まちがえたとき、反省はしても、自分を責めない）」「心配しない（大丈夫、万一の時はこうしよう）」がキーワード。子どもたちに接するとき、そして自分にも大切にできたらよいなと思いました。

現行の小学校学習指導要領の前文に、「一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識すると共に、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる」とあります。

一人ひとりに得意なことも苦手なこともあるでしょう。よさを伸ばし、苦手なところを努力していくことは大切です。同時に、もっと広い意味で「得意なこと、苦手なことがある、そんな自分」をまるごと「なかなかいい」と思えるようになってほしい、同じように、自分と考えの違う多様な人がいること、関わっていくことで「なるほど」「そういうふうに考えたんだ」「おもしろいな」と、受け入れられるようになってほしいと思います。それがまた、ありのままの自分を尊び、大切に思うことにつながっていくのだと思います。毎日の生活の中で、学校、家庭、地域の協働で育まれていくことだと思っています。



「お茶の葉、慎重にすりきり1杯。すりきるとなくなっちゃったよ!？」

たてわり遠足。グループでたくさん遊んだね。

